

◎「ウクライナ支援」 News Letter (16) 2023年6月11日

ミッション・宣教の声

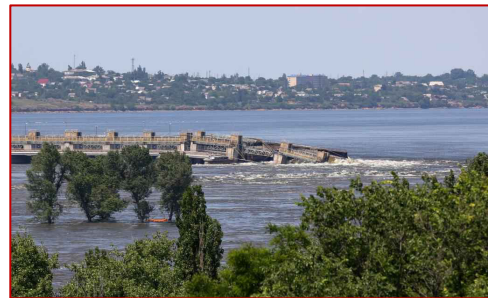
主にある皆様へ

いつもウクライナの聖徒と教会のために、忠実に祈りお支えくださり心から感謝します。ウクライナ情勢はすでに15ヶ月が過ぎ、混迷度がさらに増してきました。戦火状況はニュースでお聞きのよう、厳しさを増すばかりです。多くの人々が涙を流し悲痛の声で、戦争の速やかな終息を叫んでいます。この恐ろしい戦争を止める力を持つ人がいない中、人類は神の前に大きな「あやまち」をし続けています。私がこのNLを書き始めたところ、丁度ウクライナ・オデッサで宣教中の船越真人・美貴宣教師夫妻から、現地の近況についてメールが入りました。そこで、今号は彼らからの生々しい報告をお届けいたします。黒田 禎一郎

カホフカ水力発電所

ウクライナでは2つの大きな動きがありました。1つ目は6月6日のカホフカダムの爆破と決壊です。本当に信じられない事件が起こってしまいました。

ヘルソン市は去年の3月から11月11日までの約8ヶ月間、ロシア軍によって占領され、その占領期間に数多くのヘルソン市民がロシアに強制移住させられたり、ロシア軍、FSBから非人道的な扱い（選別、尋問、拷問、虐殺）を受けたりしました。非常に苦しく忌まわしい8ヶ月間でした。ようやくウクライナ軍によって11月11日にドニプロ川西岸が解放されましたが、今度はドニプロ川東岸からロシア軍がヘルソン市への砲撃を開始し、ヘルソン市は一気に別の意味で「危険な町」となりました。多くのヘルソン市民が避難を余儀なくされました。



さらに、今年の5月からヘルソン市へのロシア軍による砲撃が激化し、多くの民間人が犠牲になり、多くの市民が家を破壊されてきました。（オデッサ教会にもヘルソンから避難してきている人々がいますが、その中には自分の家や親戚の家が砲撃によって破壊されてしまった人々もおられます。）そこにきて今回のダムの爆破、決壊による洪水状態が起こり、あまりに重なる苦難に本当に言葉を失ってしま

います。私たちのオデッサ教会は、チェルノバイエフカ教会（協力関係にある教会でヘルソンから 5 km のところにあります）にボムボートと食料を届ける働きをしています。

大規模反転攻勢

2 つ目は、ウクライナ南東部での大規模反転攻勢です。すでに両軍に多大な犠牲が出ていると報道されています（ウクライナ側からは情報が出ませんので、正確な状況は今わかりません。）ザポリジャ州とヘルソン東側で激しい戦闘が始まれば、そこに住む人々の生活環境がさらに破壊されることになります。どうかウクライナの上に主の特別の守りとあわれみがあるように、お祈りください。

HOPE ニコラエフのはたらき、続けて用いられています。8 つの村での食料配布と子供キャンプに加えて、現在は 3 つの村の教会でスモールグループを立ち上げる働きを支援しています。引き続き HOPE ニコラエフの働きが豊かに祝福されるようにお祈りください。HOPE オデッサのはたらきも続けて用いられています。お祈りに感謝します。現在ウクライナ東部・南部から多くの避難民の方々がオデッサに来ています（水害により、ヘルソン方面からの避難民はさらに増えるでしょう）が、現時点で国外に避難しているウクライナ人のうち、戦争が終わっても東部・南部の故郷の町や村が破壊されているために帰ることができない人々の中にはオデッサに来ることを選択する人々が多く起こることが予測されています。そのことも視野に入れて今後の HOPE オデッサの働きを発展させていきたいと願っています。続けて主の導きをお祈りください。

バプテスマ式

5 月 28 日の礼拝でバプテスマ式を行いました。今回は 4 名（サーシャ、アンドレイ、イリヤ、アリーナ）がバプテスマを受けました。この 4 名のこれからの歩みの祝福をお祈りください。船越真人・美貴

祈りの課題

1. 戦争の速やかな停止・終息のため
2. 私たちの献金と支援が用いられますように。
3. 船越真人・美貴宣教師が主様に守られ、福音が宣べ伝えられますように
4. 戦争疲れと精神的ストレスから守られますように。
5. 教会（集会）指導者の上に神の助けと導きがありますように

※ この News Letter は不定期発行で、メール送信しています。